



掘ったいもを食べたい！

先週、芋掘りをしました。

掘ったのは、プロジェクトの野菜チームが植え、ていねいに水やりをしていたさつまいもです。

梅雨の大雨や夏のとんでもない猛暑で、無事に育ったか心配でしたが、大豊作でした。見たこともないくらい大きなさつまいもがたくさんとれました。

さつまいもチームの子がとてもうれしそうに「ぼくたちが育てたんだよ！」と言っているのがとても微笑ましかったです。

子どもたちにどうしたいか聞くと、当然「食べたい！」という答えが返ってきました。さつまいもは1か月ほど保存して追熟させ、でんぷんを糖化させるので、1か月後にみんなで料理して食べる予定です。

料理は、短い時間で、学校の調理器具で作れる「フライパンで作れる大学いも」にしました。使う油の量も少ないのであまり危なくありません。

ただ、切ったり炒めたりは大変なので、今回も保護者サポーターを募集させていただきます。詳しくは保護者様宛メールをご確認ください。

さつまいも調理実習の保護者サポーター募集

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfiH-U519F0DM_Z2cww_FNfq34Bizl1GvPAmEwrWlStV86F3g/viewform



【ものすごい太さです。子どもたちの表情もいいですね】



【小さなさつまいもも大切に収穫】



【1クラスでもものすごい量！】



【「大きなカブ」みたいにみんなで力を合わせて抜いていました】

その他のさつまいも掘りの写真はこちら

↓
第3Q写真



【喜びの声がこちらまで届いてきそうですね】

さつまいもの栽培と収穫は、生活科の教科書でも推奨されている活動なので、昨年の2年生もさつまいもを栽培して食べました。

覚えているか気になったので、3年生に、「去年さつまいも食べたの覚える？」と聞いたら、うれしそうに「うん！超うまかった！今年もやるの？いいな〜！」と言っていました。

みんなで作って食べたことが、素敵な思い出になったのでしょね。

きっと今年の2年生も、おいしく楽しくさつまいもを料理して食べることが、心に刻まれる素敵な思い出になることと思います。

私がまだ学生だった頃、ある教育講演会で、「うれしい、楽しい、おいしいの気持ちを大切にしましょう。それが一番子どもの心を惹きつけます」という言葉を聞きました。

それを聞き、「よし、自分もいつかそんな授業をするぞ」と思ったのものです。

それが今、うれしい、楽しい、おいしいでいっぱい2年生にすることができて、とてもうれしいです。

さつまいも掘り体験のすすめ

今はシーズンなので、色々な場所でも掘り体験ができます。「もっとやりたい！」という子がたくさんいたので、休日にご家族でいかがでしょうか？

土や自然と触れ合い、季節を体や味覚を通して感じることができます。

うれしい、楽しい、おいしいをご家庭で体験することができ、おすすめです。